

平成 29 年度 第 2 回石狩市男女共同参画推進委員会 議事録

日時 平成 29 年 9 月 28 日（木）18 時 00 分～19 時 40 分

場所 石狩市役所 3F 庁議室

議事次第

◇開会

◇委員長挨拶

◇議事

＜報告事項＞

- 1 平成 29 年度男女共同参画実施事業について
- 3 男女共同参画意識に関するアンケート結果について
- 2 第 3 次石狩市男女共同参画計画成果指標進捗状況について

＜協議事項＞

- 1 次年度以降の取り組みについて

◇その他

事務局より事務連絡

◇閉 会

出席者

委 員			職 員（事務局）			
役 職	氏 名	出欠	所 属	役職	氏 名	出欠
委員長	阿部 包	○	環境市民部	部長	新岡 研一郎	×
副委員長	岡本 峰子	×		課長	時崎 宗男	○
委 員	安部 紀江	×	広聴・市民生活課	主査	山本 健太	○
	西澤 理佳	×		主任	瀧坪 真里依	○
	伊藤 美由紀	×		主事	君野 彩花	○
	鎌田 加津枝	×				
	宍戸 秀次	○				
	芳賀 武士	×				
	袴田 律子	○				
	新田 大志	○				
	沼田 式朗	○				
	村上 譲司	○				

傍聴者 0 名

◇開会

【事務局（時崎課長）】

定刻になりましたので、これより平成 29 年度第 2 回石狩市男女共同参画推進委員会を開催します。

本日の欠席は岡本副委員長、安部委員、西澤委員、伊藤委員、鎌田委員、芳賀委員です。

まず始めに資料の確認と本日の予定についてのご説明をさせていただきます。

＜事前配布資料＞

資料 1 平成 29 年度男女共同参画実施事業一覧

資料 2 男女共同参画意識に関するアンケート結果

資料 3 第 3 次石狩市男女共同参画計画成果指標進捗状況

このほか、『第 3 次石狩市男女共同参画計画』の冊子はお持ちでしょうか。お持ちでない方は、事務局にお伝えください。

本日の会議は 19 時 30 分を目処に終了したいと思いますので、円滑な審議にご協力をお願いします。それでは、開会にあたり、阿部委員長より一言ご挨拶をいただきます。

◇委員長挨拶

【阿部委員長】

みなさん、お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。今回の会議で平成 29 年度は最後になります。活発なご意見をいただければいいなと思いますので、よろしくお願いします。

◇議事

【阿部委員長】

それでは議事に入ります。

「議題 1 平成 29 年度男女共同参画実施事業」について、事務局は説明をお願いします。

【事務局（山本主査）】

それでは、私から平成 29 年度男女共同参画実施事業についてご説明いたします。

資料は【資料 1 平成 29 年度男女共同参画実施事業一覧】になります。7/28 の前回会議以降に実施した事業と今後についてご確認をお願いいたします。8/25 から 9/11 まで、男女共同参画意識に関するアンケート調査を実施いたしました。詳細は報告事項の 2 でご説明いたします。

次に、10/4 から 6 まで子育てメッセ in いしかり 2017 パネル展にて、子どもと保護者が一緒に男女共同参画意識を学ぶことが出来るきっかけとして、絵本や書籍を紹介いたします。絵本は一人ひとりの個性を尊重する事を考える内容のもの、書籍は共働き家庭におけるワーク・ライフ・バランスを考える内容のもので、また、同時開催として、10/3 から 8 まで市民図書館で男女共同参画特集コーナーを設置し、男女共同参画やワーク・ライフ・バランスに関する内容の書籍を紹介いたします。

次に、10/4 に例年開催しております男女共同参画ワークショップを子育てメッセの会場で実施いたします。テーマを子育て世代におけるワーク・ライフ・バランスの推進とし、収納整理術に関する講演会と参加者によるグループワークを予定しています。講師は一般社団法人日本ライフオーガナイザー協会の戸井由貴子さん、運営を岡本副委員長が以前いらした札幌市男女共同参画センターにお願いしています。推進委員会からは安部委員と新田委員にご参加いただく予定となっています。ど

うぞよろしく願いいたします。

次に、10/21 に男女共同参画講演会を宍戸委員が所属されています石狩市 PTA 連合会の研究大会の中で実施いたします。これは、昨年度の推進委員会でのご意見を踏まえて今年度新規に実施する事業となります。テーマを子育て世代におけるワーク・ライフ・バランスの推進とし、参加者が PTA 活動を実践しながら自身のワーク・ライフ・バランスを実現するために、子ども達との関わり方や講師の実体験をもとに学ぶ内容を予定しています。講師は、岡本副委員長が所属されています公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会の下川原清貴さんをお願いしています。委員のみなさまの中で講演会に参加したい方がいらっしゃいましたら、後ほどお申し付けください。

次に、11/13 から 24 まで女性に対する暴力をなくす運動パネル展を開催いたします。内容は男女間における暴力に関する市民意識調査結果、デート DV・ストーカー行為・面前 DV、パープルリボンプロジェクト、相談機関・窓口の紹介となります。パネル内容の説明などを、鎌田委員が所属されています北海道家庭生活カウンセラークラブ石狩地区の方にご協力いただく予定となっています。また、展示場所はりんくると花川南コミセン、それから伊藤委員が勤務されていますこども未来館あいぽーとでもポスターなどの掲示をおこなう予定となっています。また、この運動期間にあわせて、市内中学生および中学校 PTA 事務局にデート DV 防止リーフレットを配布いたします。当初は昨年度に中学生全員に配布したことから、今年度は中学 1 年生のみと考えていましたが、前回会議で、毎年度繰り返し啓発をおこなうことが大切というご意見をいただきましたので、今年度も中学生全員に配布することといたしました。

次に、11/30 に藤女子大学にて女性の生き方という視点での講義を実施します。内容は若干異なるかもしれませんが、昨年度は人権について、性別によって差別されないこと、憲法について、婚姻、配偶者、財産権、相続、住居の選定の自由などとなっています。講師は札幌人権擁護委員連合会の秀嶋ゆかりさんをお願いしています。

このほかは、随時、市 HP や広報いしかり、チラシポスター周知等を行ってまいります。委員のみなさまには、都度事業のご案内をさせていただきますので、よろしくお取り計らい願います。

以上が議事 1 の平成 29 年度男女共同参画実施事業の説明となります。

【阿部委員長】

ありがとうございます。ご発言いただく前にお願いがあります。議事録作成のために録音をしていますので、私に指名されてから発言していただきますようお願いいたします。

また、なるべく大きな声でご発言ください。それでは、ご質問などがありましたらご発言ください。

【沼田委員】

10 月 21 日に開催される男女共同参画講演会（石狩市 PTA 連合会研究大会）について、先ほどの説明で、この審議会の委員も参加できるということをおっしゃっていましたが、石狩市 PTA 連合会所属の関係者しか参加できないということではなく、一般の方も参加できるという認識でよろしいのでしょうか？

【事務局長（山本主査）】

石狩市 PTA 連合会研究大会なので、対象は市内の PTA の方です。ただ、今回は石狩市 PTA 連合会と石狩市広聴・市民生活課で協力して実施・運営をするので、男女共同参画推進委員の皆さまは別枠で参加可能ということです。

【沼田委員】

わかりました。ありがとうございます。

【阿部委員長】

他にありませんか？無ければ、次に「議題2 平成29年度男女共同参画実施事業」について、事務局は説明をお願いします。

【事務局（山本主査）】

それでは、男女共同参画意識に関するアンケート結果についてご説明いたします。

資料は【資料2 男女共同参画意識に関するアンケート結果】になります。

まず概要ですが、目的は、第3次計画成果指標の進捗状況と男女共同参画に関する市民意識を把握し意見等を今後の事業に活用していくためです。対象は、市内居住の20歳以上の男女1,000人を地域別・年代別で無作為抽出しています。期間は8/25から9/11まででした。

次に回収状況ですが、回収件数は228件で回収率は22.8%、昨年度から48件4.8%の増加となっています。前回会議で検討したとおり返信方法をハガキから封書に変更、Web回答も導入しています。

性別の回収率は、男性は20.2%、女性は24.6%、性的マイノリティの方に配慮し性別選択を必須項目としませんでしたので未記入の方が4件となっています。

2ページに移りまして、年齢別の回収率は、年齢が上がるにつれ上昇傾向にあり、20～39歳の若年層の回収率が20%以下と低い状況で、男性より女性の回収率が高くなっています。地域別の回収率は、八幡、親船、生振、緑ヶ原地区が低いほかは、ほぼ同程度の割合となっています。

3ページに移りまして、回答方法は、228件中、郵便での回答が219件でWebでの回答が9件となっています。また、Webで回答した人の年代ですが、20～29歳が4件、30～39歳が3件でした。

4ページからは、各設問の分析結果となります。

問1は、「男女共同参画」という言葉の認識割合になります。「男女共同参画」という言葉を見たり聞いたりしたことが「ある」と回答した人の割合は、全体で58.3%、男性が65.3%で女性が53.7%、性別未記入の方が25.0%となっています。傾向は、昨年度同様、女性より男性の方が高い割合となっていますが、今年度は女性が半数以上認識している結果となっています。

男女/年代別の割合は、男性が全ての年代で5割以上の方が認識していて、特に高齢の方の認識が高くなっています。女性は20～29歳が71.4%と高い一方、30～39歳が31.6%と低くなっています。なお、50%を下回ったのは、女性の30～39歳だけでした。

このことから、一般的に子育て世代である30～39歳の方への周知として、先ほど報告した子育てメッセージのパネル展や児童生徒へのリーフレット配布などにより子どもと一緒に考えてもらう取り組みを今後も継続実施してまいります。

5ページは、問2の「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認識割合になります。

「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を見たり聞いたりしたことが「ある」と回答した方の割合は、全体で39.5%、男性が47.5%で女性が34.1%、未記入の方は0%となっています。傾向は、昨年度同様、女性より男性の方が高い割合となっています。男女/年代別の割合は、ほぼ全ての年代で女性より男性の方が高くなっています。また、女性の30～39歳と70歳以上が20%台と低く、問1同様に女性の30～39歳の認識が低い結果となっています。

このことから、同世代の方のロールモデルの周知、パネル展での啓発などを今後も実施するほかに、10月に実施する市内PTAと連携した事業を次年度以降も実施できるよう関係機関と協議してまいり

ます。

6 ページから 8 ページは、問 3 の「DV にあたる行為」の認識割合になります。

ある一定の行為が「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した方の割合は、全ての項目で前回調査より低くなっています。また、1～4 の身体的な暴力に比べ、5～8 の精神的な暴力についての認識が低く、特に「6 交友関係や電話を細かく監視する」については、半数以下となっています。

項目別に見ていくと、ほぼ全ての項目で男性より女性の方が「DV にあたる行為」と認識している割合が高く、特に「1 平手で打つ」と「8 大声でどなる」という行為については、女性と男性で 10% 以上認識に差がある結果となっています。また、「暴力にあたると思わない」と回答した割合は、5～8 の精神的な暴力についての項目が高くなっていて、特に「6 交友関係や電話を細かく監視する」は、男女ともに 10% 以上となっています。

このことから、若年層への啓発やパネル展等での啓発を今後も引き続き実施するほか、11 月に実施することも未来館あいぽーとと連携した周知啓発などを次年度以降も実施できるよう、またたくさんの人の目に触れるようさまざまな場所で周知啓発ができるよう関係機関と協議してまいります。

最後に 9 ページから 14 ページまでは、問 4 のワーク・ライフ・バランスを実現するために、どのようなことを心掛けているか自由記述のご意見となっています。

男性からは 40 件、女性からは 62 件、未記入の方は 2 件、全体で 104 件のご意見をお寄せいただいています。若い年代は、人との関わり方、相手を思いやることや、一人で無理をしないことなどの意見が多くありました。一方で、生活のために仕事を優先しなくてはならないこと、妊娠を期に会社を退職させられたことや保育施設の充実をあげる意見など、社会環境の整備を望む意見もありました。高齢者層は、家庭やパートナーとの関係についての意見、趣味や町内会活動を通しての意見などがあり、会話や物事からバランスを保っているとの意見が多くありました。

以上が議事 2 の男女共同参画意識に関するアンケート結果の説明となります。

【阿部委員長】

ありがとうございました。ご意見、ご質問等ある方はお願いします。

ひとつ、私から意見を言わせていただきたいと思います。4～6 ページの棒グラフについてなのですが、それぞれ尺度が違うので、ぱっと見たときにイメージが数字とは違ってしまいうような気がします。可能なら、100%なら 100%ですべてのグラフを統一した方が、比較しやすいと思うので、ご検討いただきたいです。

【事務局（山本主査）】

尺度を統一していなかった理由としては、グラフを大きくして見やすいようにしていたということで。ですが、やはり成果指標 100%を目指すので、100%まで掲載した方が良いと思いますので、次年度以降は 100%で統一します。

【新田委員】

分析結果のところに平成 28 年度の結果を載せて、前年度との比較はしていただいているところですが、年代別の前年度比も見たいと思いました。

【事務局（山本主査）】

わかりました。次年度以降は掲載します。

【阿部委員長】

難しいのは、有意と見れるかどうかの数値でしょうね。1000 通のうち 228 通が返ってきて、20%を超えたので、昨年よりも少し増えて良かったなと思いますが、この手のアンケートだと 30%を超える努力をするべきだと思います。若い世代が Web で回答してくれているので、若い世代に対する周知をするともっと増えそうだなと思います。また、子育て世代の女性が認識不足と感じます。それは子育てに忙しくて、男女共同参画など考えている時間がないというのが現状なのでしょうね。

【事務局（山本主査）】

私もこの年代に当てはまるのですが、妻と一緒に子育てをしていますが、どちらかというと女性の比重が大きいと感じています。いまは共働き世帯も多いですから、メディアに触れる時間が少ないと思います。10 月 4 日に男女共同参画ワークショップを行います。そういうものに参加して、ワーク・ライフ・バランスなどを知っていただきたいと思います。ですが、一番の問題は圧倒的に時間がないということです。みなさんのご家庭ではどうですか？

【袴田委員】

子育てに集中すると、外部の情報は自分から取りに行かないと得るのは難しいと思います。なので、こちらから色々な機会を提示して、興味を持っていただくことが大事だと思います。今回のワークショップも整理収納術という入り口はとても良いと思います。継続して地道に周知していくことが必要ですね。

【阿部委員長】

新田委員はどうですか？

【新田委員】

私も 30 代で、最近結婚したのですが、共働きです。大企業なら短時間労働などの制度が整っていますが、現実そうではないというところもあります。今は子育てをしていますが、子育て世代の方もそうでしょうね。十分にバランスが取れる状況にないということを実感しています。アンケートの自由記述でも理想と現実の折り合いに関して書いている方もいらっしやって、個人が変えていく部分と社会が変わっていく部分が必要なのだと、改めて感じました。

【阿部委員長】

先ほど、ターゲットを子育て世代に絞った、パネル展やワークショップなどの企画を行っていくという説明もありましたが、それも地道にやっていくしかないと思います。昔は「何歳未満のお子様連れはお断り」というイベントなども多かったですが、今は託児コーナーなどを併設して、イベントを行うということも増えてきました。そういった意味では、だいぶ変わったかなという気がしています。予算に関わることなので、すべてのイベントをそうするという事は難しいと思いますが。

【穴戸委員】

第 1 回の審議会の時に、回収率をひとつの議題として話し合いましたが、昨年との対比というのが、アンケート結果に反映されていないということと、回収率が平成 28 年度は 18.0%、平成 29 年度は

22.8%と上がっていますが、返信用封筒にしたからか、Web での回答を導入したからか、色々理由はあると思います。しかし、参画の意識というものは高くなってきているのではないかと思います。その中で、「男女共同参画社会という言葉を見たり聞いたりしたことはあるか」という質問に対して、女性が 53.7%「ある」と回答しているということは、半数以上になったということで、これが回収率に反映されたのではないかと思います。

その中で、もっと回収率を上げるためには先ほどの話にもあったように、子育て世代の女性の回収率を上げることが重要になるのかと思います。今は共働きの家庭が多くて、PTA の活動もそうなのですが、いつも来る方が決まっています。来ない方の掘り起こしが非常に大事だと思います。子育て世代というのは、女性が仕事をしていると、仕事が終わって帰ってきたら家事をしなければならないというように時間がない状況だと思います。なので、男女共同参画を分かっているけど踏み込んでいけないということもあると思います。うまく学校の PTA を活用していくと、男女共同参画意識の向上やアンケートの回収率も上がるのではないかと思います。そして、毎年行うことであれば、昨年どうだったか、今年どうだったかを反省して、こうだったから来年はこうするという様な、予習・復習することが大事だと思います。

【阿部委員長】

ありがとうございます。多分、意識が低いのではなく、男性の問題が大きいのではないかと思います。つまり、夫が子育てや家事に十分関わるという度合いが上がると、必然的に女性の時間ができると思います。そうすると、関心を持ちやすい環境になりますよね。そこから始めないと話にならないのではないかと思います。それも含めて、PTA は良い場所ですよ。

【宍戸委員】

そうですね。今まで全く関わっていない男性がいきなり役員になるということもあったのですが、やはり PTA の根底にあるのは女性ですね。そういったものにも男性が積極的に参加して、意識を変えていって欲しいです。

【阿部委員長】

少し違う話になってしまうかもしれませんが、今の小学校や中学校での授業参観日に出席するのは女性と男性でどのくらいの比率なのですか？

【事務局（山本主査）】

圧倒的に女性が多いです。

【宍戸委員】

男性は 1 人か 2 人ですね。

【阿部委員長】

それでは 50 年前と変わっていない状況ですね。ここから改善していかないといけない気がします。

【事務局（山本主査）】

学校も、平日の参観日と土日参観日というメニューを設けているので、昔よりは行きやすい場になっているのではないかと思います。

【阿部委員長】

学校も工夫しているのでしょうね。昔は日曜日に行くことはなかったので、お父さんにも参加してもらおうという意識が見られて、少しは良くなったと思います。

【袴田委員】

このアンケートの趣旨としては、これからの男女共同参画推進事業に活用させるためということですが、この集計結果というのはこの審議会で審議して終わりですか？

【事務局（山本主査）】

詳細については、この審議会と市役所職員で構成される行政推進会議で報告をさせていただいております。ホームページなどで一般の方への公開はしていません。

【阿部委員長】

広報いしかりに別の調査が公開されることがありますよね？この調査も毎年でなくても、年度の比較や目標値を掲載するのはどうでしょうか。広報に限らずホームページなどでも構わないですが。

【袴田委員】

私は個人的にこの調査がとても興味深いと思いました。年齢層によって考え方が違ったり、自分との感じ方の違いを見ることができるので、勉強になります。たくさんの参考意見が載っているので、ここで終わらせてしまうのはもったいないと思うので、何かの形で一般の方にも見て欲しいと思います。それに、アンケートに回答してくださった方も自分の意見がちゃんと届いていると思うと、もう少しアンケートを書こうかなと思う気持ちが高まるかな、という期待も込めての意見です。

【事務局（山本主査）】

補足なのですが、アンケートをホームページに直接公開しているわけではないのですが、審議会の資料としては公開しているので、ホームページから見るとは可能です。ただ、袴田委員のおっしゃった趣旨とは異なるので、探さないと見れない状況です。

【阿部委員長】

やはり、探さなくても見れるというアクセスしやすい環境を作ることが重要なでしょうね。

【宍戸委員】

ワーク・ライフ・バランスを実現するために心がけていることを自由記述したものはとても良いですね。「30代女性」などと匿名性を守りながら、何個か良い記述をピックアップしては良いのではないかと思います。自分自身も見ていて「なるほどな」と思うことが多かったので、活用すべきだと思います。

【沼田委員】

今までホームページや広報などに掲載していなかった理由は、何かあったからなのですか？

【事務局（山本主査）】

特に何かあった訳ではございません。

【沼田委員】

そうですか。先ほど袴田委員がおっしゃっていた様に、答えた方も自分の意見が反映されているのがわかった方が嬉しいと思います。ホームページですと、やはりアクセスしやすい場所に掲載することですね。

【袴田委員】

それでしたら、このアンケート結果をすべて掲載してしまっても良い気がします。

【沼田委員】

些細な意見も見ていると思っていただけた方が良いですよ。

【宍戸委員】

このアンケートの抽出方法ですと、抽出されていない人はこのアンケートの存在すら知らないということですよ。周知するのであれば、こういう方にもアンケートをやっていることを知らせていかないと、せっかくやっても意味がないということになってしまいます。

【事務局（時崎課長）】

ご意見ありがとうございます。皆様からご指摘いただいたとおりでございます。アンケート結果を公表しない理由は市としてございません。すでに、審議会の活動として掲載はしていますが、わかりにくいところにあります。ですので、これを見つけやすくする作業をして、すぐに見てもらえるようにして、男女共同参画に対する意識やアンケート回収率の向上を図ってきたいと思います。

【阿部委員長】

ありがとうございます。

使いやすいホームページというのは、新しい情報がトップページにあって、そこをクリックするとそのページに飛ぶことができるものだと思います。石狩市のホームページはこういう形式でしたか？

【事務局（時崎課長）】

石狩市のホームページは各セクションがそれぞれページを作ることになっており、新しい記事がアップされると、トップページのトピックスのところに載るようになっていきます。なので、他の新しい情報がいくつか更新されるまでは新着情報として掲載されます。

【袴田委員】

押したくなるタイトルで掲載すると、より良いかなと思います。

【阿部委員長】

アクセスするところのタイトルは正式名称ではなくて、押した先に正式名称で載っているというので、
も良いのかなと思います。

【新田委員】

同じような意見になってしまうかもしれませんが、回答数 228 件のうち、自由記述が 104 件ということで、約半数の方が記入していて、とても多いと感じました。自由記述を記入している方というのは、
こういう問題に対して意識が高いのかなと思います。そういう方のためにも、入り口をわかりやすく
していくことは大事だと思います。

【阿部委員長】

そうですね。皆さん活発なご意見ありがとうございます。前回の審議会でもお話したかと思いますが、
18 時に家に帰るといって本を読んでいるのですが、オランダの状況は非常に進んでいると思います。仕
事と日常生活を比べたら、オランダ人は確実に日常生活を優先させるのです。そういう意識に個人が
ならないと、おそらく進んでいかなないと思います。日本人は社会を変えようと議論するものの、社
会は個人の集まりなので、個人が変わる気がないと社会も変わらないと思います。

それでは【資料 3 第 3 次石狩市男女共同参画計画成果指標進捗状況（平成 29 年度）】について、事
務局は説明をお願いします。

【事務局（山本主査）】

はい。それでは、第 3 次石狩市男女共同参画計画成果指標進捗状況についてご説明いたします。

資料は【資料 3 第 3 次石狩市男女共同参画計画成果指標進捗状況（平成 29 年度）】になります。

I の「男女共同参画」という用語の周知度、II-3 の「ワーク・ライフ・バランス」という用語の周知
度、III の DV にあたる行為を認識している市民の割合については、さきほど報告したとおりです。

【II-1】市の審議会等委員に占める女性の割合は、昨年度より比率が低くなり 34.9%となっています。
前回会議でもご説明したとおり、審議会の性質によってどうしても女性が少なくなってしまう場合も
あることはご理解いただいているかと思いますが、それらの審議会とそうでない審議会とをあわせて
目標値を 40%と設定していますので、「公募における女性の積極的な選考についての協力依頼」「学識
経験者や各種団体に所属している女性の人材リストの庁内周知」を今後も引き続きおこない全庁的に
意識付けをおこない達成に向けて取り組んでまいります。

2 ページの、【II-2】市役所の管理・監督職（主査職以上）に占める女性の割合は、3 ヶ年の経過から、
目標値の 20%に向け少しずつ上昇している状況です。今いる女性職員数を維持したまま経過していく
と目標値に近づいていく予定なので、「人事異動方針での周知」を今後も引き続きおこなってまいり
ます。

【阿部委員長】

ありがとうございます。徐々に上がっているのが 3 つ、下がったのはその年によってという仕方ない
面もあるので、それほど著しく問題があるという訳ではないのかなと思います。ただ、1 ページ目の
「市役所の管理・監督職に占める女性の割合」という項目について、男性と女性の能力という点で言
いますと、目標値が 20%になっていますが、40%くらいでも良いのではないかと思います。

【袴田委員】

2 ページ目の「市役所の管理・監督職に占める女性の割合」は毎年 2 人ずつ増えていて、とても良いと思いますが、辞退する方はいるのですか？

【事務局（山本主査）】

人事案件になりますので、広聴・市民生活課では把握していません。

【袴田委員】

そうですか。子育てに集中したいという理由で辞退した方などがいらっしゃるのかどうか気になりました。

【阿部委員長】

そうですね。日常生活を優先したいから、という意識の高い方もいないとは限らないですね。

【事務局（時崎課長）】

おそらく、あったとしても記録には残らないのではないかと思いますので、実態把握は難しいと思います。

【阿部委員長】

個人が特定されない形で、生活を優先したい等の理由で辞退された方を年度ごとの人数で記録しておく、労働条件の改善にも繋がるのではないかと思います。

【新田委員】

1 ページ目のⅡ-1 市の審議会等委員に占める女性の割合について、平成 29 年度は審議会数が 1 個増えているのに、委員の人数が 19 人削減され、そのうち女性が 14 人削減されているのはなぜですか？

【事務局（山本主査）】

この男女共同参画推進委員会も設置要綱では委員数が 15 人までとなっています。その中で第 8 次は 12 人となっていて、さらに学識経験者、団体推薦、一般公募という区分けがあります。それは各審議会が違うので、任期や公募の兼ね合いで委員数も女性も減ってしまったということです。この審議会も一般公募の方が 3 名いますが、3 名とも男性です。

【宍戸委員】

男女共同参画ということは、男性も女性も共同でということですよ。焦点が女性の職場環境や、社会進出というような女性メインのことが多い気がします。男性でも生活や趣味を優先したいから昇格したくないという人もいます。私は児童デイサービスの仕事もしていますが、そこには幼稚園の先生や保育士の方がいて、ほとんどが女性で男性は 2 名です。女性はやはり仕事よりも生活優先です。女性がそうで、男性は違うかという、そうではなく男女平等だと思います。そういうことも含めて、どうやって共同参画していくかということをひとつの目標にして、女性の管理・監督職の目標が 20%ではなく、40%や 50%にするくらいやっていかないといけないのではないかと思います。昨日勉強会があったのですが、自分に自信がない日本人が世界で一番国民性が低いということを聞きました。男

性も女性もみんなで良くしていこうという意識をみんなで持つことが大事だと思います。

【阿部委員長】

先ほど話したオランダのことなのですが、オランダでの仕事は基本的にチームプレイだそうです。なので、一人が抜けても他の人たちで少しずつカバーし合っています。日本にはあまりそういう意識がないのではないかと思います。だから休みたくても自分の仕事を他の人がわからなくてうまくいかなかったら困るなどと考えてしまっていると思います。

他に意見がある方はいませんか？いないようでしたら協議事項に移りたいと思います。事務局は説明をお願いします。

【事務局（山本主査）】

平成 30 年度については、資料 1 の平成 29 年度事業をベースに取り組んで行きますが、成果指標の意識に関する項目の達成に向け、プラスアルファする要素がないかご意見を賜りたいと存じます。例えば、デート DV 講座では藤女子大学の阿部委員長や石狩南高校の西澤委員、さらに講師として人権擁護委員の伊藤委員にご協力いただきました。また、ワークショップや 10 月 21 日に行う石狩市 PTA 連合会の男女共同参画講演会では、講師等の協力を公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会の岡本副委員長、実施については石狩市 PTA 連合会所属の宍戸委員にご協力いただきます。来月行う女性に対する暴力をなくす運動パネル展では、北海道家庭生活カウンセラークラブ石狩地区の鎌田委員にはパネル展の期間中にパネルのご説明などご協力をいただきます。また、ワーク・ライフ・バランスを実現するロールモデル集には沼田委員に出演していただきました。このほか、更にご協力いただけることがあれば、ご意見を賜りたいと思います。

また、アンケートについては、次年度も行うことになります。先ほどから多くのご意見いただきましたので、改善をして、次年度に向けて取り組んでいきたいと思います。更にご意見があれば、いただければと存じます。

【阿部委員長】

ありがとうございます。ご意見がある方はいらっしゃいますか？

いないようですので、その他に移りたいと思います。

◇その他

【事務局（山本主査）】

ご審議いただき、ありがとうございました。冒頭でも申し上げましたとおり、平成 29 年度の男女共同参画推進委員会は今日を持ちまして終了となります。いただいたご意見につきましては、すぐ取り組めるものは取り組み、次年度以降の予算等も考慮しながら実施できるものは実施していきたいと思っています。第 8 次委員の皆様におかれましては、来年度が任期の最終年度となりますので、更なる活発なご意見をいただければと思っております。日程等決まりましたらお知らせいたします。

今後も引き続き事業のご案内をさせていただきますので、ご都合の良い時は是非ご参加いただければと思います。よろしくをお願いします。

◇閉 会

【阿部委員長】

以上を持ちまして、平成 29 年度第 2 回石狩市男女共同参画推進委員会を終了します。
長時間にわたってご議論いただき、ありがとうございました。

平成 29 年 10 月 26 日議事録確定

石狩市男女共同参画推進委員会

委員長 阿部 包